

令和3事業年度

決 算 報 告 書

自：令和3年4月 1日

至：令和4年3月31日

国立大学法人宮崎大学

令和 3 年度 決算 報告 書

国立大学法人宮崎大学
(単位：百万円)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 額 (決算-予算) | 備 考 |
|---------------------|--------|--------|----------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 9,247 | 9,465 | 218 | (注1) |
| 施設整備費補助金 | 1,174 | 544 | △ 630 | (注2) |
| うち補正予算による追加 | - | 8 | 8 | |
| 厚生労働省交付金 | - | - | - | |
| 補助金等収入 | 1,536 | 3,227 | 1,691 | (注3) |
| うち補正予算による追加 | - | 35 | 35 | |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 | 38 | 38 | - | |
| 自己収入 | | | | |
| 授業料、入学金及び検定料収入 | 2,934 | 2,937 | 3 | |
| 附属病院収入 | 19,842 | 20,270 | 428 | (注4) |
| 指定管理料収入 | 242 | 239 | △ 3 | |
| 財産処分収入 | - | - | - | |
| 雑収入 | 537 | 649 | 112 | (注5) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 2,299 | 2,544 | 245 | (注6) |
| 引当金取崩 | - | 71 | 71 | |
| 長期借入金収入 | - | - | - | |
| 貸付回収金 | - | - | - | |
| 前中期目標期間繰越積立金取崩 | - | - | - | |
| 目的積立金取崩 | 460 | 876 | 416 | (注7) |
| 計 | 38,310 | 40,873 | 2,563 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | | | | (注8) |
| 教育研究経費 | 11,579 | 10,835 | △ 744 | |
| 診療経費 | 20,686 | 22,142 | 1,456 | |
| 施設整備費 | 1,212 | 582 | △ 630 | (注9) |
| うち補正予算に係る事業 | - | 8 | 8 | |
| 補助金等 | 1,310 | 2,794 | 1,484 | (注10) |
| うち補正予算に係る事業 | - | - | - | |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 2,299 | 2,370 | 71 | |
| 貸付金 | - | - | - | |
| 長期借入金償還金 | 1,225 | 1,207 | △ 18 | |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金 | - | - | - | |
| 計 | 38,310 | 39,933 | 1,623 | |
| 収入-支出 | - | 939 | 939 | |

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、特殊要因運営費交付金(退職手当及び年俸制導入促進費)の追加交付や、計画段階で予定していなかった特殊要因運営費交付金(退職手当)と業務達成基準適用事業の繰越により、予算額に比して、218百万円増額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、農学部総合研究棟改修事業繰越の影響等により、予算額に比して、決算額が630百万円減額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、新型コロナウイルス感染症関連補助金や授業料等減免費交付金の影響等により、予算額に比して、決算額が1,691百万円増額となっております。なお、授業料等減免費交付金については授業料等免除に使用しております。
- (注4) 附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、宮崎県からの要請を受けて、特にECMO等が必

要な重症患者の受入病床確保や医療スタッフの感染症指定医療機関等への派遣のため、入院・外来患者の受入制限を昨年度に引き続き行う一方、感染状況を把握しつつ可能な限り、COVID-19診療と通常診療（高難度手術や検査など）を両立させ病床稼働や外来患者数が一定程度回復した結果、予算額に比して決算額が428百万円増額となっています。

なお、陽性患者受け入れのための病床確保（病床を空けておくことに伴う損失）や病院機能維持のための徹底した院内感染防止策などを行う医療機関に対し、国や地方自治体により様々な財政支援の方策が講じられ、これを財源とする収入については、補助金等収入に計上（1,340百万円）されております。

- (注5) 雑収入については、動物治療収入や農場及び演習林収入、コロナワクチン接種収入等の増や前年度以前からの繰越により予算額に比して決算額が112百万円増額となっています。
- (注6) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究及び寄附金等の受入増や前年度以前からの繰越により、予算額に比して決算額が245百万円増額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、年度途中での取崩計画の変更により、予算額に比して決算額が416百万円増額となっています。
- (注8) 業務費のうち、教育研究経費は、目的積立金取崩額の減少や、コロナウイルス感染症対応の人件費増に伴って、教育研究経費の人件費が減少したこと等により、予算額に比して決算額が744百万円減額となっています。一方で、診療経費は、病院収入の増加や上述とおり新型コロナウイルス感染症対応に伴う人件費増加、また、目的積立金取崩額の増加等により、予算額に比して決算額が1,456百万円増額となっています。
- (注9) 施設整備費補助金については、農学部総合研究棟改修事業繰越の影響等により、予算額に比して、決算額が630百万円減額となっています。
- (注10) 補助金等については、新型コロナウイルス感染症関連補助金の影響等により、予算額に比して決算額が1,484百万円増額となっています。